



山梨の子どもたちは…

校長室窓から見える七面山が、ここ数日で一段と色づいてきました。校庭のいちようの木も、まっ黄色に染まりました。暦の上でも立冬を迎え、晩秋から初冬に一気にギアチェンジした感がします。七面山をかかえる本校は日没が早く、太陽が七面山にかくれてしまったのは13時35分。その後から急に寒くなってきます。健康に気を付け、元気に令和元年のまとめに向かう早川南小学校でありたいと思っています。

さて、No.22で今年の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の本校の概要をお知らせしたところですが、山梨県全体の傾向について話題にしたいと思います。左の「いいじゃん!やまなし」は、山梨県総合教育センターが発行している、今年度の全国学力テストの児童生徒質問紙から、山梨県の子どもたちの特徴的なところをまとめたものです。総合教育センターのHP内からも見るができます。

山梨県の子どもたちは、「自分にはよいところがある」「人が困っているとき、進んで助けている」「失敗を恐れなくて挑戦している」については、小中全国トップレベルだそうです。また、「地域の行事に参加している」「お互いの意見を生かして解決方法を決めている」については、全国との差が10ポイント以上いい数字が出ているようです。

国語や算数の結果のみがクローズアップされがちな全国学力テストですが、児童生徒質問紙で問われたことも、とても大切だと思います。他にも、以下のような設問において高い数値結果が出ました。

児童生徒質問紙

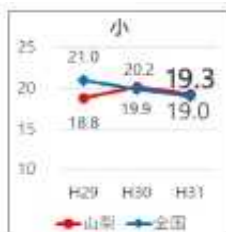
- 人が困っているとき、進んで助けている (小中全国トップレベル)
- 地域の行事に参加している (小中全国10ポイント以上)
- お互いの意見を生かして解決方法を決めている (小中全国10ポイント以上)
- 自分にはよいところがある (小中全国トップレベル)
- 失敗を恐れなくて挑戦している (小中全国トップレベル)
- 授業研究など、実践的な研修を行っている (小中全国100%)
- 系統的、継続的な研修を行っている (小中全国100%)
- 児童生徒のよい点や可能性を見付けほめている (小中全国100%)
- 学校運営を全教職員で、組織的に取り組んでいる (小中全国100%)

学校質問紙

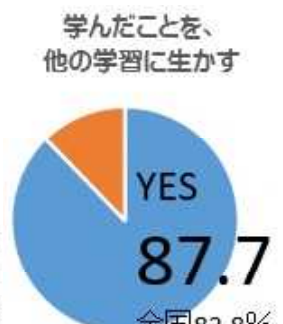
■このリーフレットは、山梨県総合教育センターのホームページに掲載しています。



読書が好き



新聞を読む



家庭学習の時間についての質問もありました。右の折れ線グラフは、「平日、1日1時間以上勉強をしている」という質問に対しての過去12年間の推移です。下の線が山梨ですが、数値が上がってきたことがわかりますね。学校での学習と家庭での学習がしっかりとつながっていくことが学力の定着には欠かせません。引き続きご家庭でのご協力をお願いします。知・徳・体バランスのとれた生きる力を持った子どもを育てるため、今後も努力してまいります。

